

大分県 周防灘圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

周防灘圏域は県の北部に位置し、3,100ha の広大な干潟に面する 3 つの市から構成され、総人口は 158,658 人である。漁業人口の割合は 0.2% であり、県平均の 0.4% に比べ低い状況である。

平成 14 年に県内のすべての漁業協同組合が合併して大分県漁業協同組合となり、域内には 5 つの支店・取次店がある。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

沖合の海域で操業する小型底びき網（域内漁獲量の 30%）、刺し網（22%）、船びき網（2%）の漁獲量が多く、その他に、カニかごや採貝・採藻が営まれている。主な漁獲物は、現在の漁獲量が多い順に、その他の魚類 277 トン、カレイ類 106 トン、タコ類 89 トン、その他のイカ類 83 トン、その他のエビ類 82 トンである。各魚種とも減少傾向にあるが、干潟環境の変化などで、特にアサリの漁獲量減少は著しくピーク時の昭和 60 年、27,503 トンの 0.04% にあたる 10 トン以下で近年は推移し、資源量は極めて低い水準にある。また、その他の魚類も減少傾向が顕著である。クルマエビは変動があるものの低下傾向にある。このため、アサリ、クルマエビ、ガザミ、マコガレイ等の種苗放流に積極的に取り組むとともに、小型魚の保護（体長制限）、産卵時期の保護（抱卵ガザミの自主放流、蓄養）に取り組んでいる。アサリについては天然発生稚貝の生残を高めるように努めている。

③ 水産物の流通・加工の状況

圏域内には産地市場として大分県漁協宇佐支店の魚市場があるが、その規模は小さく、取扱量も減少の傾向にある。また、地方卸売市場として、中津魚市場と（株）高田魚市場の 2 社がある。域内で漁獲された水産物は域内の市場へ出荷されるものが多いが、一部は福岡へも出荷される。

圏域内には宇佐市を中心に水産物加工会社が多数あり、エビ加工品などを生産している。また、漁協の女性部では地元で水揚げされる低・未利用魚を使った加工品の製造販売を行っている。宇佐市には大分県漁協長洲工場があり、製氷、水産物の冷凍・加工を行っている。

④ 養殖業の状況

域内において、主な産業であったノリ養殖は減少傾向が続き、経営体は5年前の半数以下であるものの、近年カキ養殖を始めとする二枚貝養殖も営まれている。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

域内の組合員数は、正 234 名、准 78 名の計 312 名で、高齢化や資格審査の厳正化等により減少傾向が続いており、5年前のおよそ 68%となっている。現状の減少率で推移すると令和 8 年には 194 名にまで減少するものと考えられる。

⑥ 水産業の発展のための取組

周防灘圏域の 3 市とも水産多面的機能発揮対策事業を実施し、干潟の保全活動として、ナルトビエイ除去、浮遊堆積物除去、干潟域の耕うん等に取り組んでいる。また、漁協中津支店が中心となって、平成 24 年度から国内で初めて吊り下げバッグを使った干潟域でのカキ養殖に取り組み、シングルシードオイスター「ひがた美人」のブランド名で平成 26 年から販売を開始し、県外・海外にも販路を広げている。また、漁協直営カキ小屋「美人小屋」の事業も行っており、販路拡大を目指している。

また、長洲地先においてヒジキの養殖を平成 28 年から開始し、宇佐市の認定ブランド「筋肉ヒジキ」の名前で販売を開始した。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

当圏域には、高度衛生管理を導入した漁港はない。また、広大な干潟からなる遠浅の海域であるため、航路等の埋没対策が必要不可欠であるが、施設整備は未だ十分ではない。また、この海域は潮の干満差が大きく、漁業者の高齢化が進む中、就労環境の厳しさが増している。さらに、拠点となる漁港において、施設の老朽化が著しく、水産物の安定的な供給に多くの課題を残している。

併せて、カレイ類、クルマエビ、アサリなどの有用水産生物の漁獲量の減少が著しいことから、沿岸の生産力を回復させるために、藻場造成・増殖場造成、漁場環境を改善するための堆積物除去などの事業の導入が必要と考えられる。

カレイ類、クルマエビなどは、生活史が広域にわたっているため、近接海域を含めた広い海域で生活史に対応した漁場整備を推進する必要がある。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

圏域内で唯一の産地市場を有し流通拠点漁港である長洲漁港においては、耐震化された物揚場を保有していることから、災害時には早期復旧を可能とするため、近隣の漁港を含めた長洲漁港の BCP の策定を進める。

(2) 圏域設定の考え方		
① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由；地域ブランドの推進に取り組んでおり、圏域内には水産加工会社が多数ある。
② 圏域範囲	福岡県境の中津市から豊後高田市に至る豊前海地域	設定理由；豊前海水産振興協議会の参集範囲。
③ 流通拠点漁港	長洲漁港	設定理由；長洲漁港は圏域内で最大の港勢を誇り、唯一の産地市場を有し流通拠点漁港として機能しており、属地陸揚げ金額が4.1億円であるが今後さらなる発展が見込まれている。今後は、流通拠点漁港に相応しくするため、衛生管理施設の導入、流木対策、災害時の早期復旧が可能とするBCPの策定を進めたい。
④ 生産拠点漁港	小祝漁港	設定理由；小祝漁港は属地陸揚げ金額2.6億円で、属地陸揚量は圏域の約24%を占め、長洲漁港に次ぐ規模を誇る圏域内の中核的な役割を担う漁港である。今後は生産拠点漁港としての機能を充実させたい。
⑨ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；

(輸出取扱量：令和元年度、その他：令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	1,112	圏域の登録漁船隻数(隻)	381
圏域の総漁港数	11	圏域内での輸出取扱量(トン)	0.1
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	2		

当該圏域を含む養殖生産 拠点地域名		
当該圏域を含む養殖生産 拠点地域における主要対 象魚種		
当該圏域を含む養殖生産 拠点地域における魚種別 生産量（収穫量）(トン)		
当該圏域を含む養殖生産 拠点地域における魚種別 海面養殖業産出額(百万 円)		

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①流通拠点等の機能強化

当該圏域には、高度衛生管理を導入した漁港がなく、水産物の安定的な供給に課題を残していることから、流通拠点漁港の衛生管理化を推進する。当地域は広大な干潟からなる遠浅の海域であることや河川に隣接した漁港があり、航路等の埋没・流木対策が安定的な水産物の供給には欠かせないこととなっているため、埋没・流木対策の施設整備を進める。また、長洲漁港の背後にある産地市場において、漁獲情報の処理の迅速化や省力化等に資するICTの活用について推進する。

②養殖生産拠点の形成

該当なし。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に対応した漁場生産力の強化

カレイ類、クルマエビ、アサリ、ガザミなどの有用水産物の漁獲量の減少が著しいことから、沿岸の生産力を回復させるために、藻場の造成や漁場環境の改善に力を入れるとともに、種苗放流や資源管理を継続していく。

生物の生息環境を改善するために、漁場内に堆積したゴミ等の除去や底質改善のための耕うん、産卵場・成育場となる藻場造成・増殖礁造成を実施する。こう

した整備を行うに当たっては、対象生物の生態を把握した上で生活史に対応した漁場整備計画を実施してモニタリング等で効果を検証する必要があり、ハードとソフトが一体となった効率的な取り組みを行う。

②災害リスクへの対応力強化

当圏域内は広大な干潟からなる遠浅の海域であることや河川に隣接した漁港があり、航路等の埋没・流木対策が安定的な水産物の供給には欠かせないこととなっているため、埋没・流木対策の施設整備を進める。

また、圏域内で唯一の産地市場を有し流通拠点漁港である長洲漁港においては、耐震化された物揚場を保有していることから、災害時には早期復旧を可能とするため、近隣の漁港を含めた長洲漁港のBCPの策定を進める。

(3)「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

圏域内の漁港において既存ストックの有効活用を図るため、プレジャーボートの受け入れの場として活用する。

②女性など多様な担い手の活躍

圏域内の漁港において女性や高齢者など多様な担い手が活躍できるよう就労環境の改善対策を進める。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①流通拠点等の機能強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
長洲	流通機能強化	流通基盤	長洲	2	○
中津	流通機能強化	生産基盤	小祝	2	

長洲地区ではポンツーンによる流木対策及び航路浚渫、中津地区では泊地浚渫等を実施し流通機能の強化を図る。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に対応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
大分県北部	資源管理	水産環境

周防灘地区では、増殖場の整備や堆積物除去・耕耘とあわせて休漁日の設定と体長制限などの資源管理を一体的に行っている。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
長洲	早期再開	流通基盤	長洲	2	○
中津	早期再開	生産基盤	小祝	2	

長洲地区ではポンツーンによる流木対策及び航路浚渫、中津地区では泊地浚渫等を事前に実施し災害時にできる限り早期再開ができるよう対策を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

②女性など多様な担い手の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
長洲	就労改善	流通基盤	長洲	2	○
中津	就労改善	生産基盤	小祝	2	
大分県	就労改善	機能保全	長洲	2	○
大分県	就労改善	機能保全	小祝	2	

長洲地区ではポンツーンによる流木対策及び航路浚渫、中津地区では泊地浚渫等、その他の地区では機能保全による老朽化対策を行い、担い手の就労改善を図る。

4. 環境への配慮事項

漁港整備で発生する残土については、沖合の漁場造成にあてることにより、環境への負荷を軽減させる。

5. 水産物流通圏域図

別紙のとおり

5. 水産物流通圏域図

